

# 動詞活用

<https://ja.wikibooks.org/wiki/日本語/非母語話者むけ/文法/動詞> と <https://ja.wikipedia.org/wiki/活用> と [https://ja.wikipedia.org/wiki/助動詞\\_\(国文法\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/助動詞_(国文法)) と <https://ja.wikipedia.org/wiki/補助動詞> と <https://ja.wikipedia.org/wiki/移動> と 『新版中日交流標準日本語』 による

## 動詞

### 五段活用

基本形 (ウ段)	マス形 (イ段)	ナイ形 (ア段)	命令形 (エ段) *	意向形 (オ段)	テ形	過去形
く	きます	かない	け	こう	いて	いた
す	します	さない	せ	そう	して	した
つ	ちます	たない	て	とう	って	った
ぬ	にます	なない	ね	のう	んで	んだ
む	みます	まない	め	もう	んで	んだ
る	ります	らない	れ	ろう	って	った
う	います	わない	え	おう	って	った
ぐ	ぎます	がない	げ	ごう	いで	いだ
ぶ	びます	ばない	べ	ぼう	んで	んだ

### 上一段活用・下一段活用・カ行変格活用・サ行変格活用

基本形	マス形	ナイ形	命令形*	可能形	条件形	意向形	テ形	過去形
(い)る 上一段	ます	ない	ろよ	られる	れば	よう	て	た
(え)る 下一段								
くる カ変	きます	こない	こい	こられる	くれば	こよう	きて	きた
する サ変	します	しない	しろ せよ	できる	すれば	しよう	して	した

## ナ行変格活用・ラ行変格活用

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ぬ ナ変*	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね
り ラ変*	ら	り	り	る	れ	れ

- **行く** のテ形・過去形は例外で、「行った」「行って」となります。
- 「買う」のように「**う**」で終わる動詞は、否定形が「買わない」のように「わ」を使います。「買う」など基本形がウで終わる動詞の語幹はwで終わり、ナイ形など直後にaがつくとき（ア段になるとき）だけwが現れ、a以外のときはwが発音されないからだと考えられます。
- **\*命令形**
  - 五段活用：＋る可能形・＋ば条件形。
  - 上一段・下一段・カ変活用・サ変活用：上は口語で、下は文語です。
- **\*ナ変**：「死ぬ」<sup>し</sup>「往ぬ（去ぬ）」<sup>い</sup>二語のみである。
- **\*ラ変**：「有り」<sup>あ</sup>「居り」<sup>を</sup>「侍り」<sup>はべ</sup>「いますがり（いまそがり・いましがり etc.）」の四語とその複合語である。

基本形にはウ段（く、す、つ、ぬ、む、る、う、ぐ、ぶ）があり、マス形にはイ段（き、し、ち、に、み、り、い、ぎ、び）、ナイ形にはア段（か、さ、た、な、ま、ら、わ、が、ば）、命令形にはエ段（け、せ、て、ね、め、れ、え、げ、べ）、意志形にはオ段（こ、そ、と、の、も、ろ、お、ご、ぼ）があります。そのため、五段動詞の活用では、ア段・イ段・ウ段・エ段・オ段の全てが現れます。**五段動詞**の名称は、このことからきています。

**一段動詞**<sup>いちだん</sup>という名称は、語幹の終わりが五十音表におけるイ段またはエ段の一段だけであることに由来しています。

他の文法	学校文法
マス形 ます形 丁寧形	連用形＋助動詞「ます」
ナイ形 ない形	未然形＋助動詞「ない」
基本形 辞書形	終止形 連体形
テ形 て形	連用形＋接続助詞「て」
タ形 た形 過去形	連用形＋助動詞「た」
意志形 意向形	未然形＋助動詞「う」「よう」

他の文法	学校文法
バ形 条件形 已然形	仮定形

## 助動詞

接続	意味	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形	活用型式	備考	
未然形	受身 尊敬 自発 可能	れる	れ	れ	れる	れる	れれ	れろ れよ	動詞型 (下一段型)	動詞と(一部の)動詞型の助動詞に接続する。「られ-」/ 「れ-」の選択は、ア段音の後に付く場合は「れ-」、 それ以外は「られ-」。 サ変動詞に付く場合、「-さ」形に付くことが多い。 「可能」「自発」の意味の場合、命令形は無い。	
		られる	られ	られ	られる	られる	られれ	られろ られよ	動詞型 (下一段型)		
	使役	せる	せ	せ	せる	せる	せれ	せよ せろ	動詞型 (下一段型)	動詞に接続する。「させ-」/「せ-」の選択は、 ア段音の後に付く場合は「せ-」、それ以外は「させ-」。 サ変動詞に付く場合、「-さ」形に付くことが多い。	
		させる	させ	させ	させる	させる	させれ	させよ させろ	動詞型 (下一段型)		
	打消	ない	なかろ	なかっ なく	ない	ない	なけれ	○	形容詞型	動詞と動詞型活用の助動詞に接続する。	
		ぬん	○	ず	ぬん	ぬん	ね	○	特殊活用	動詞と動詞型活用の助動詞と助動詞「ます」に接続する。	
	推量 意志 勧誘	う	○	○	う	(う)	○	○	不変化型	五段動詞と形容詞・ 形容動詞と未然形がオ段音で終わる助動詞に接続する。	
		よう	○	○	よう	(よう)	○	○	不変化型	五段活用以外の動詞と下一段型の助動詞に接続する。	
	未然形 終止形	打消推量 打消意志	まい	○	○	まい	(まい)	○	○	不変化型	五段活用以外の動詞と下一段型の助動詞の未然形に接続する。 五段活用と助動詞「ます」の終止形に接続する。
	連用形	希望	たい	たかろ	たかっ たく	たい	たい	たけれ	○	形容詞型	動詞と動詞型の助動詞に接続する。
たがる			たがら (たがる)	たがり たがっ	たがる	たがる	たがれ	○	動詞型 (五段型)	動詞と動詞型の助動詞に接続する。	

接続	意味	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	假定形	命令形	活用型	備考
	過去完了 存続 確認	ただ	たろ だろ	○	ただ	ただ	たら だら	○	特殊活用	用言と連用形のある助動詞（ただし「そうだ（伝聞）」「ぬ」を除く）に接続する。
	丁寧	ます	ませ ましょ	まし	ます	ます	（ますれ）	ませ まし	特殊活用	動詞と動詞型の助動詞に接続する。
	様態	そうだ	そうだろ	そうだっ そうで そうに	そうだ	そうな	そうなら	○	形容動詞型	用言と一部の助動詞に接続する。形容詞（型）および形容動詞に付く場合、語幹に接続する。
	ぞんざい	やがる	やがら	やがり やがっ	やがる	やがる	やがれ	やがれ	動詞型 （五段型）	動詞と動詞型の助動詞に接続する。
終止形	伝聞	そうだ	○	そうで	そうだ	（そうな）	○	○	形容動詞型	用言と一部の助動詞に接続する。
	推定	らしい	○	らしかつ らしく	らしい	らしい	（らしけれ）	○	形容詞型	用言、一部の助動詞、体言、一部の助詞に接続する。形容動詞（型）に付く場合は、語幹に接続する。
	当然	べきだ	べきだろ	べきだっ べきで べく	べきだ	べき （べきな）	べきなら	○	形容動詞型 （「同じだ」と同じ活用）	動詞と動詞型の助動詞に接続する。 連体形「べきな」は、助詞「の」「ので」等が接続する場合のみ（形容動詞「同じだ」と同様）。
連体形	比況 例示 推定	ようだ	ようだろ	ようだっ よう ように	ようだ	ような	ようなら	○	形容動詞型	用言、動詞型の助動詞、助動詞「ない」「ぬ」「た（だ）」「たい」、格助詞「の」、連体詞「この」等に接続する。
体言助詞	断定	だ	だろ	だっ で	だ	（な）	なら	○	形容動詞型	体言と一部の助詞に接続する。 假定形「なら」・未然形「だろ」「でしょ」については、動詞・形容詞・一部の助動詞の終止・連体形にも接続する。
	丁寧な断定	です	でしょ	でし	です	（です）	○	○		

● その他の助動詞の例：

- （使役） しめる （動詞型（下一段））
- （比況） みたいだ / みたいです （形容動詞型）
- （断定） じゃ （特殊活用）

● 補足：

- 「動詞型活用の助動詞」を「動詞型の助動詞」などと略している。他の活用型についても同様。
- 一部の形容動詞型・形容詞型の助動詞は、形容動詞・形容詞と同様に語幹の形で現れることがある。例：「もう泣きそう」「美味しそう！」「-するよね」「-しなさそうだ」「何か言いたそうな-」
- 学校文法では助動詞とされないかもしれないが、助動詞のように使われる語句あるいは造語要素が多数ある（参照：補助動詞）。例：「なさる」「ございます」「う（得）る」「かねる」「過ぎる」「づらい」「やすい」「がちだ」

## 補助動詞

## 形式上

普通は、別の動詞（または国文法でいう「助動詞」などが後続したもの）の連用形に、接続助詞「て」を介して後続する動詞を、補助動詞と称する。これは言語学上の助動詞に当たる（国文法でいう「助動詞」とは異なる）。

「知っている」「掛けてある」「笑ってしまう」「見ていく」「変わってくる」「代わってくださる」「行ってもらう」などの太字の部分。

### 例

- 状態や動作の態様を表し、時間的意義などを含む（言語学的には相に当たる）「いる」「ある」「いく」「くる」「しまう」「おく」
- 受益表現の「くれる」「やる」「あげる」「もらう」
- その他：「みる」「みせる」
- このほか希望を表す「ほしい」などの補助形容詞も同様の性格を持つ。

「ている」「ておく」「ていく」「てしまう」「でしまう」などは、話し言葉では「てる」「とく」「てく」「ちまう、ちやう」「じまう、じゃう」と短縮されて助動詞的に用いられる（文法化）。

## 機能上

機能的には、動詞の連用形や、形容詞・形容動詞の語幹などに直接後続する「笑いあう」「動き出す」「明るすぎる」なども補助動詞に近い。これらは一般には全体で**複合動詞**として扱っている（後続する部分は後項動詞という）。しかし、「押し付ける」「引き離す」「たたき起こす」など狭義の複合動詞（語彙的複合動詞）の場合と比較すると、本来の意味を必ずしも保っていない、前の動詞などとの組合せはあまり限定されない、「掃除させ始める」のように助動詞が介入する場合も多い（従って助動詞だけを独立の品詞とするのは整合性がない）、など大きな違いがあり、上記の補助動詞との共通点が多いため、後項動詞を補助動詞という説もある（複合動詞としては「統語的複合動詞」）。「保障しかねる」のように本来とかけ離れた意味を表すものもあり、これなどは助動詞に近い。また「動き出す」のように本来の用法と異なる（「出す」は他動詞、「動き出す」となると自動詞）場合も多い。

### 例

- 相を表す「始める」「出す」「続ける」「終わる」「過ぎる」
- 相互の行為を表す(態)「あう」
- 位置変化・存在を表す「出す」「込む」
- 敬語の「なさる」
- 可能性・容易性を表す「う(得)る」「かねる」
- また複合形容詞・形容動詞を形成する「やすい」「にくい」「がちだ」なども同様の性格を持つ。

## 他の動詞

- 移動動詞
  - 「行く」は通常「ゆく」と読むが、「いく」という読み方も奈良時代より使われており、鎌倉時代に入り一時ほとんど見えなくなったが、現在では、書き言葉では「ゆく」、話し言葉では「いく」と使い分けられることが多い。